

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

# 経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666  
FAX 03-3455-7777

## 経営者への活きた言葉

### 非凡な組み合わせを創出し、先駆けること（オープンイノベーション） 三品 和広（神戸大学大学院教授）

1. 企業社会の最新の流行はオープンイノベーションである。社外の知見を取り込むべく協働拠点を設けたり、社内で事業組織間の協奏を訴えたりする企業は増える一方ながら、相も変わらず「形から入る」姿を見ると目を覆いたくなくなってしまう。「実から入る」なら、企業間競争の激化こそを問題とすべきであろう。
2. 混戦から抜け出すには、競争の軸を変えるに限る。その具体策として浮上しているのが複合技である。従来なら一つ屋根の下に同居することなどありえない事業を組み合わせ、それを一体不可分のペアとして運営する。そうすることで片翼飛行の競合他社を寄せ付けず、企業レベルの利益を享受する。
3. たとえば米アマゾン、ネット物流事業をクラウド事業と組み合わせた。ネット物販には米ウォルマート、クラウドには米マイクロソフトという別々の競争相手がいるが、面白いことに、ウォルマートとマイクロソフトが戦う場面は想定しにくい。組み合わせが非凡な証左である。
4. オープンイノベーションという方法論など、どうでもよい。第三者と組んで参戦すれば技術開発レースを有利に選べるかもしれないが、それは 20 世紀の尺度においての話である。21 世紀の今、競争の焦点は非凡な組み合わせの創出に移っている。そこでは、オープンネスは必要でないし、十分でもない。肝心なのは先駆けること、その一点だけである。

（参考：「週刊東洋経済」2018 年 6 月 30 日号）

## 経営者のための営業学

### 次の 100 年のための戦略組織（パナソニック）

1. パナソニック β（ベータ）。米カルフォルニア州マウンテンビューにある、リサーチパークの一角にその拠点はある。ここで作られているのが、秘密のベールに包まれた未来の家電「Home x」。そして「新しいパナソニック」そのものだ。ここにいる 3 カ月は日本の所属元のこと是一切忘れ、新しいやり方で「Home x」プロジェクトに取り組むことが求められる。
2. 2017 年 7 月の β（ベータ）発足から今年の 5 月までに、約 500 件のアイデアを出し、そこからパソコンのシミュレーターなど約 300 のプロトタイプを作った。β（ベータ）は、単なる若手（エンジニア、研究者、法務、品質管理など）の研修道場ではない。「これまでのタテのパナソニックの組織には存在しなかったヨコの取り組みを広げ、もう一度世界一になることを狙う次の 100 年のための戦略組織だ」。帰国後、「卒業生」同士で連絡を取り合い、新たなプロジェクトを立ち上げる。（参考：「週刊ダイヤモンド」2018 年 7 月 14 日号）

## 海外事情

### 米国は貿易ルールを崩し

#### 新たなリスクを念頭に

#### ビル・エモット（英エコノミスト誌元編集長）

1. 欧州と日本企業や政府は、トランプ政権の下では、何十年もの間培ってきた安全保障や国際連携や、世界貿易のルールに関する経済協力が何の役にも立たないことを覚悟しておかねばならない。これは「アメリカファースト」の一端にとどまらず多くの評論家が言うように「アメリカローン」であり、米国の政策で同盟国が被害を受けようとも気にしないという姿勢だ。
2. 米国が世界最大の経済規模を維持していることを考えると、多くの欧州や日本の企業は、トランプ大統領の貿易政策や外交政策が進展する中で、新たなダメージを被るリスクを念頭に置くべきだ。

（参考：「日経ビジネス」2018 年 6 月 18 日号）

## 古典に学ぶ

### 余程の勉強家（木下藤吉郎）

（解説）秀吉が木下藤吉郎と称して信長に仕え、草履取をしておった頃、冬になれば藤吉郎の持ってた草履は、常にこれを懐中に入れて暖めておいたので、いつでも温かったというが、こんな細かなことにまでわたる注意は余程の勉強でないと、到底ゆき届かぬものである。

（参考：洪沢栄一「論語と算盤」：国書刊行会）